

八王子北 高等学校 令和7年度

教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～E組

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 公共）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解し、諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に判断する力や、実際の合意形成や社会参画に向けた議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、人間としての望ましい在り方・生き方についての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などと活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部第1章 公共的な空間をつくる 私たち—社会のなかの自己 ○青年期の特徴と発達課題、及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間のあり方について理解するとともに、自己形成及び社会形成に主体的に参画することの意義について考察する。	・指導事項 (1) 現代社会に生きる青年 (2) 社会的な関係のなかで生きる人間 ・教材 教科書、ワークシート、レポート	【知識・技能】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている(各単元に共通の基準につき、以下の単元では記載を省略) 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	5
第1部第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理 ○現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。 ○生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察し議論する。	・指導事項 1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理 ・教材 教科書、ワークシート、レポート	【知識・技能】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	○	○	○	4
1 学期 定期考査			○	○		1
第1部第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 ○公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。 ○これらがなぜ公共的な空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察する。	・指導事項 1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開 ・教材 教科書、ワークシート、レポート	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	4
第2部第1章 民主政治と私たち ○政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解する。 ○地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの視点から解決に向けて考察し表現する。	・指導事項 民主政治と政治参加 1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論 ・教材 教科書、ワークシート、レポート	【知識・技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 【思考・判断・表現】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

2 学 期	第2部第2章 法の働きと私たち	<p>・指導事項 法や規範の意義と役割 1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用 3 市民生活と私法 1 市民生活と法 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任 国民の司法参加 1 司法のしくみと役割 2 刑事司法と司法参加の意義</p> <p>・教材 教科書、ワークシート、レポート</p>	<p>【知識・技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第2部第3章 経済社会で生きる私たち	<p>・指導事項 現代の経済と市場 1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ 3 国民所得と経済成長 市場経済における金融の働き 1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と金融環境の変化 財政の役割と持続可能な社会保障制度 1 財政の働き 2 財政の課題 3 社会保障の考え方 4 社会保障の課題とこれから</p> <p>・教材 教科書、ワークシート、レポート</p>	<p>【知識・技能】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		5	
3 学 期	第2部第4章 私たちの職業生活	<p>・指導事項 働くことの意味と職業選択 1 働くということ 2 多様な職業選択 労働者の権利と雇用・労働問題 1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題</p> <p>・教材 教科書、ワークシート、レポート</p>	<p>【知識・技能】 ・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・働くことの意味、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択のポイント、多様化するキャリアの選択とキャリア形成の課題、資本主義社会における労働契約、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、主体的に追究している。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第2部第5章 国際社会のなかで生きる私たち	<p>・指導事項 国際社会のルールとしくみ 1 国際社会の成り立ち 2 国際連合の役割 国際社会と平和主義 1 日本の平和主義と冷戦 2 冷戦後の世界と日本 国際平和への課題 1 現代の紛争とその影響 2 平和な国際社会に向けてグローバル化する国際経済 1 貿易のしくみ 2 国際金融のしくみと動向 3 グローバル化と今日の国際経済 4 国際経済の諸課題</p> <p>・教材 教科書、ワークシート、レポート</p>	<p>【知識・技能】 ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。</p>	○	○		1
定期考査			○	○		3	
第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	<p>・指導事項 1 探究のイメージをつかもう 2 探究プロセス</p> <p>・教材 教科書、ワークシート、レポート</p>	<p>【知識・技能】 ・課題解決に必要な事項を理解している。また、第1部・第2部で学習した知識と関連付けている。 【思考・判断・表現】 ・課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析したり考察したり判断したりしている。 ・得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進捗を自ら振り返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。</p>				合計	
						70	